

令和元年度 日南市立吾田小学校 学校関係者評価書

4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

重点目標	実践事項	具体的方策	担当	No.	学校アンケート項目	児童	保護者	自己評価	学校関係者による総合評定と総評
日南教育	他者から学ぶ力	児童に関わる全ての人々とコミュニケーションを図る機会や場を意図的に設定する。	教務 (全職員)	1	子どもは、自分から進んでコミュニケーションをとっていますか。	3.6	3.3	3	4
		学年や学級の仲間と協力し合いながら、互いの生き方や考え方をもとに課題を解決する手立てを図る。							
	自ら学ぶ力	あらゆる場面や状況の下で、自ら課題を見つけ、自主的に課題解決に取り組む展開を図る。							
		自ら他者に働きかけ、積極的にかかわることで、事故の成長を肯定的に捉えさせる。							
	自然から学ぶ力	学校行事や校外学習をとおして、自然と関わる機会や場を意図的に設定する。							
		自然とのかかわりの中で、自らの生き方を振り返らせ、自然とのよりよい共存の在り方を促す。							
	社会から学ぶ力	学校行事や校外学習をとおして、地域の方々と触れ合いながら社会と積極的にかかわる機会を設定する。							
		自分の生き方や考え方をもとに、社会への参画や貢献するイメージする手立てを講じる。							
	旅する読書	市立図書館との連携を積極的に活用し、読書活動や教科指導の充実を図る。							
日南キューブ	各学年のねらいに応じた活動を計画的に実施するとともに、舩肥杉に親しませる。								
振徳教育の日	日南の偉人の業績や思いに触れさせ、目標をもつことや郷土を愛する心を育む。								
学校支援本部事業	地域コーディネーターとの連携を密にし、人材等を積極的に学習に活用する。								
フッ化物洗口	虫歯予防の効果をあげるべく安全に実施し、治療率7割を目指す。								
学力と読書力の向上	基本的な学習技能の向上	基本的な学習規律を身に付けさせることで、落ち着いて学習できる学級経営を目指す。	学習指導 (教務)	9	子どもは、相手の話をよく聞き、最後までしっかりと話しますか。	3.4	3.0	3	3
		発言の際に語尾までしっかり話し、教師や仲間の話に対してしっかりと最後まで聞く。							
	NIE活用推進	新聞に親しませ、学年に応じて記事の感想や要約に段階的に取り組ませる。							
		短歌や俳句、意見文等において、自分の思いを表現する機会を設ける。							
	漢字力、計算力の向上	授業の中で、十分な習熟の時間を確保する。							
		学習定着状況を正しく把握し、個に応じた指導の機会を定期的に設ける。							
	活用力の向上	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く機会を設ける。							
問題解決に必要な図・式・言葉などを用いて説明するノート指導や交流活動の工夫を行う。									
読書活動、家読の充実	図書室利用の推進と、図書司書や読み聞かせボランティアとの連携を図る。								
	月1回の家読の日を設定し、家庭への協力を依頼して家読を推進する。								
豊かな心の育成	無言清掃の徹底	異学年の縦割り清掃を行うことで、協力してやり遂げようとする態度を育てる。	特別支援教育・生徒指導	15	子どもは、学校の準備など、自分のことは自分でできていますか。	3.7	3.4	4	4
		学級や委員会、係や当番の役割遂行により、主体性と責任感を育てる。							
	進んであいさつの励行	委員会を中心にしたあいさつ運動を奨励し、称賛により意欲付けを図る。							
		月目標を設定し、職員も率先してあいさつや会釈をすることにより、意識の高揚を図る。							
	当たり前のことを当たり前に実践	学校や地域・家庭の一員であることを意識させ、きまりやマナーを守ることの大切さを指導する。							
		きまりやマナーを守ることに對する振り返りや称賛の機会を設定する。							
道徳教育の充実	道徳の時間を要として、諸活動との関連を図りながら道徳教育を充実させる。								
	全教育活動を通して、望ましい人間関係の醸成を図る。								
人権教育、情操教育の推進	吾田キッズでの活動の充実をとおして、他学年との交流を深め、認め合いを推進する。								
	学校生活全体をとおして問題意識をもち、友達と助け合おうとする心を育てる。								
体力の向上	基礎体力の向上	体育科の授業で十分な運動量を確保すると共に、持久走や縄跳び運動取組週間を設ける。	健康指導	20	体力のある子どもに育っていると思いますか。	3.6	3.3	3	3
		体力テストを生かし、わくわく・サーキット運動、屋外でのあそびを励行する。							
	保健安全意識の醸成	保健室来室や欠席状況から見えた課題は随時職員に知らせ児童への指導に生かす。							
		年3回の生活リズムチェック週間での課題を参観日等で報告し、改善に向けた啓発を行う。							
	立腰指導	立腰指導週間を設定し、始業前の黙想での立腰指導の徹底を図る。							
		全教育活動において、立腰を意識付ける声かけを行い、姿勢の保持に努める。							
「弁当の日」の推進	弁当の日の事前指導や啓発を行い、家庭の協力を得ながら確実に実施する。								
	家庭科や保健の学習、給食指導等との関連を図り、食育を推進する。								
欠席0の日、5日	感染症や疾病の罹患状況と予防の方法に関する情報を周知し、予防への意識を高める。								
	欠席児童の家庭との連絡を密にし、回復への適切な対応を図る。								